

記載例

都労委平成〇〇年不第〇〇号不当労働行為救済申立事件

申立人 〇〇組合

被申立人 〇〇株式会社

証拠説明書

平成〇年〇月〇日

東京都労働委員会 御中

申立人

〇〇組合

執行委員長 〇〇 〇〇 印

号証	標目	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲1	団体交渉申入書	平成 26.7.1	申立人	申立人が、被申立人に対し〇〇を議題とする団体交渉を申し入れた事実
甲2の1	反訳(平成 26.7.15 開催の第〇回団体交渉)	平成 26.7.30	申立人	平成 26.7.15 開催の第〇回団体交渉の反訳。この団体交渉において、被申立人は〇〇〇と発言した。
甲2の2	CD(平成 26.7.15 開催の第〇回団体交渉)	平成 26.7.15	申立人	平成 26.7.15 開催の第〇回団体交渉の録音

※被申立人が作成する場合は、「申立人」を「被申立人」とし、「甲」を「乙」としてください。